



2021年8月1日発行 2021年8月号 (通算251号)

東京武蔵野多摩ワイズメンズクラブ

東京YMCA西東京コミュニティーセンター内 〒186-0002東京都国立市東1-4-20-102
TEL 042-577-6181 FAX 042-577-5574

【2021~2022主題】

国際会長 キム・サンチェ 「Y's Men with the World」
 アジア太平洋地域会長 大野 勉 「Make a difference beyond the 100th」
 東日本区理事 大久保 知宏 「私たちは次の世代のために何ができるか？」
 あずさ部長 長谷川 あや子 「道を拓く～愛と協力によって」
 東京武蔵野多摩会長 渡辺 大輔 「原点に立ち返って何ができるか考えよう」

【クラブ役員】

会長 渡辺 大輔
 副会長 小林 文彦
 書記 山口 直樹
 会計 宮内 友弥

I B C Tsim Sha Tsui Y's Men's Club (香港)、Seoul Han Yang Club (韓国)

D B C 神戸学園都市ワイズメンズクラブ

2021年
8月の聖句

義の実は、平和を実現する人たちによって、平和のうちに蒔かれるのです

ヤコブの手紙第3章18節

ワイズメンズクラブモットー 強い義務感をもとう 義務は全ての権利に伴う

ワイズの信条

1. 自分を愛するように隣人を愛そう
1. 青少年のためにY M C Aに尽くそう
1. 世界的視野をもって国際親善を図ろう
1. 義務を果たしてこそ権利が生ずる事を悟ろう
1. 会合には出席第一、社会には奉仕第一を旨としよう

ワイズメンズクラブの目的

1. 個人的にもまたクラブとしても、その奉仕活動を通じてY M C Aの活動を支援する
2. ワイズメンにふさわしい他の団体を支援する
3. 地域社会や国際的な問題に関心を持ち、一党一派に偏らない正義を追求する
4. 宗教・社会・経済・国際などの諸問題について会員達を啓発し、積極的に参加させる
5. 健全な交友関係を作り出す
6. この協会の国際・地域・区の事業を支援する。

8月例会の予定

強調月間：LT IBC

日時：8月14日(土)

18:00~20:00

会場：ZOOMにて開催

司会：宮内

〈プログラム：懇親例会〉

- * 開会挨拶、点鐘、ワイズソング
- * ゲスト、ビジター、メンバー紹介
- * メルカリの進捗状況報告
- * こひつじ幼稚園 中村先生 近況報告
- * メンバー 近況報告
- * 閉会挨拶、点鐘：渡辺会長

* 8月のハッピー・パステル 4日/中村

7月例会報告

在籍者	10名
出席者	8名
メーキャップ	0名
出席率	80%
ゲスト(リーダー)	1名
ビジター	2名
メネット・コメント	0名
にこにこ	0円

変わる事・変わらない事

小林 文彦

大会開催直前まで様々な問題で揺れ動いたオリンピックが開幕した。舞台裏のドタバタはさておき選手たちの競技にける情熱やプレーは素晴らしく、素直に応援したくなる。

オリンピック1年延期の原因である厄災は世界各地で猛威を振るい、多くの人命を奪った。さらに厄災は百年に一度と言われる程の変革を社会に及ぼそうとしている。これまでもデジタル化が叫ばれ、パソコン、スマホ、メールなどは身近な道具として普及はしたが、社会の枠組みに大きく影響を与えるのはまだ先の事と思っていたら、昨年いきなり在宅勤務、ウェブ会議などが広く導入され、これまで対面が当たり前だった様々な事が、デジタル通信を通して非対面で行われる割合が増えた。

高齢者に分類される世代の私には、デジタル化は普段の生活にはあまり関係が無いと高を括っていたら、いきなり顔面に突き付けられた感があり、いまだ戸惑い居心地は良くない。

確かに、時間や空間による制限が減り多くの事柄に接する可能性は高まったがその一方、対面で感じる人の温もりや表情、雰囲気など五感を通しての対話は失われてしまった。

ワイズの活動においてもウェブによる活動を余儀なくされる事が多いが、基本は集まり対面で活動することであろう。そのためにも一日も早くこの厄災が収まる事を祈りたい。

<7月例会報告>

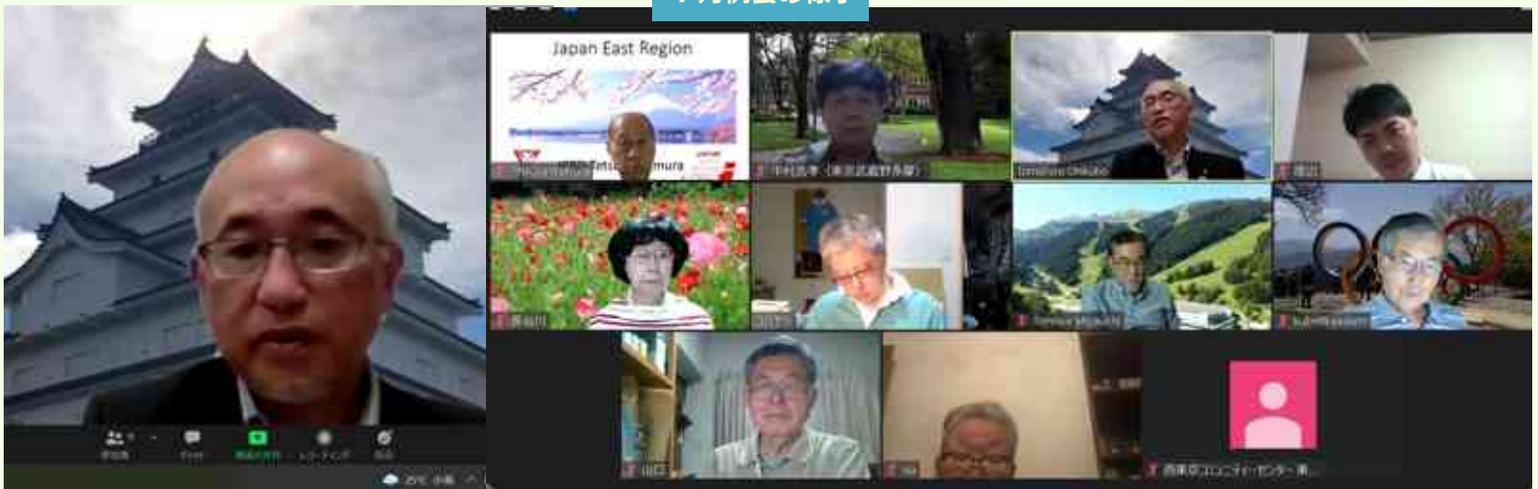
2021年7月14日 19:00~ (Zoomにて)

出席者 渡辺、伊佐、板村、小林、中村、宮内、山口、出沼
大久保(理事、宇都宮)、長谷川(八王子)、久保田(八王子)

- ・新年度スタートの例会で、大久保東日本区理事より理事の生の言葉を聞く機会を持つことができた。感謝。
- ・“We are stronger together than we are alone.”と銘打ったスピーチを伺った。
- ・まず、自己紹介で温かいご家族紹介。今まであまりご家族の話は聞いたことがなかったが、ペットを含め温かいご家庭の様子をうかがうことができ、大久保新理事の家庭的な人柄を改めて認識した。
- ・続いて 理事方針「私たちは次の世代のために何ができるのか」
スローガン「絆を深める時」
- ・特に重点方針として、次の三点の詳しい説明を伺った。
- ①「法人化のメリットを生かしていく」代議員会で、反対を含め様々な意見交換がなされたが、そのことも含め、理解を深めメリットを広めていくことが大切。メンバーが相互に理解を深め、絆を深める時。社会的信用度・情報発信力を高め、change!2022達成を目指そう。
- ②「新しい生活様式に沿ったクラブ運営を行う」リモートの会議や例会がかなり定着してきており、そのことを活用した新しい可能性を探りたい。健康を第一に考えた運営を行っていききたい。
- ③「新しい組織を検討する」組織力が低下している現状を打破していくため、新しい組織を立ち上げていく。
・その具体的対策として新しい企画の説明があった。①ワイズナイトフォーラム：ワイズメンによる魅力的なスピーチ、②グローバルクラブ：例としてとちぎYリーダーOBOGなどの参加のリモートでの集まりを実施中、③法人委員会(仮称)、④四頭立て体制の確立：直前、現、次期、次々期理事による体制、⑤中期計画の作成、⑥ユースアクション計画、⑦すぐ実施するものとして、「動画でわかるワイズメンズクラブ」のカード
・具体的な新しい計画を伴った、力強い大久保理事の方針を伺うことができ大変有意義な例会となった。参加者皆、もっと様々な機会でごのお話を聞きたいとの感想を持った。今後様々な機会で大久保理事の話をお伺いしていきたいと強く感じた。

7月例会の様子

(山口直樹)



<東京YMCA便り>

▼ご報告

第24回会員芸術祭 6月28日~7月3日

昨年は新型コロナウイルス感染防止のためホームページ上の開催でしたが、今年は例年通り東陽町センターで行い、会員、留学生、メンバー他、関係者40人から51作品の展覧がありました。

コロナ禍での夏プログラム

緊急事態宣言が発令されたため、宿泊を伴う夏キャンプ(10プログラム)に関しては中止し、代わりに日帰りプログラムを実施することにしました。またコロナ禍の影響を含め経済的な理由でプログラムに参加が難しいご家庭を対象に、所得に応じて参加費を補助する「フレンドシップファンド」を積極的に活用して、参加できるようにしています。

▼今後の予定

・早天祈祷会 8月2日(オンライン)

奨励：宮崎幸雄氏(日本YMCA同盟名誉主事)

・第35回インターナショナル・チャリティーラン

コロナ禍のため、スマートフォンアプリを使ったウォーキングイベントとして開催します。

個人参加：10月16日~22日/チーム参加：10月23日~31日

(出沼一弥)

<その他の活動>

① 神戸学園都市クラブ例会に参加して

7月15日(木)に行われた神戸学園都市クラブのハイブリット例会にズーム参加した。神戸学園都市クラブとDBC関係の岡山クラブ、東京武蔵野多摩クラブの3クラブ合同例会との形で実施されたが、西日本区の他クラブの方も参加され、大変熱気を感じた例会であった。全部で30名以上の参加であったと思う。

スピーカーの大野勉アジア太平洋地域会長から大野さんを作り上げた人生史をお聞きし、あの行動力と人脈のすごさの一端を垣間見ることができた。また、話を聞く機会が作ればと思う。わがクラブからの参加者は、渡辺、板村、山口であった。

(山口直樹)



② あずさ部第一回評議会 7月17日(土) (山手センター、ZOOM) 参加者：渡辺、中村、板村、山口、宮内、小林



今後のクラブ行事予定

8月14日(土) 18:00-20:00 8月例会(Zoom懇親例会) 日時変更にご注意

8月25日(水) 19:00~ 第2例会(事務会)

8月28日(土) 夜 臨時代議員会; Zoom (議案、役員交代、決算報告など)

9月 8日(水) 19:00-20:00 9月例会(卓話: 加藤明宏さん 愛知いのちの電話事務局長 元名古屋YMCA総主事)

OYMCAより

・8月23日の週は西センターは閉館

例会については、コロナの状況を見ながら、西東京センターとZOOMでのハイブリッド例会を秋頃から開催できるよう検討していきます。